

経済学研究科附属経済研究所 サブ・クラスター研究計画書

平成 27 年 3 月 6 日

経済学研究科附属経済研究所長 様

[申請者]

所属（専攻）経営学専攻

補職名 教授

氏 名 吉田 和生

平成 27 年度より研究所サブ・クラスター研究を申請したく、研究計画書を提出します。

1. 研究課題名	医療会計ファイナンス研究
2. 研究期間（5カ年度以内）	平成 27 年 4 月 ～ 平成 32 年 3 月
3. 共同研究組織 研究代表者（申請者） 共同研究者（所員）、	（氏名・所属クラスター・補職名） 吉田 和生・経営学系クラスター・教授 三澤 哲也・経営学系クラスター・教授 奥田 真也・経営学系クラスター・准教授 小川 淳平・経営学系クラスター・准教授 高橋 二郎・経営学系クラスター・准教授
4. 現在までの準備状況 （研究実績など上記の研究 課題と関連したもの）	<p>・2014 年 9 月から「財務分析懇談会」を定期的開催し、関連分野に関する勉強会を実施している。</p> <p>第 1 回（2014.9.11）「名市大財務分析－平成 25 年度決算を中心に－」（吉田）</p> <p>第 2 回（2014.10.16）「6 国公立大学の業績比較－附属病院を中心に－」（吉田）</p> <p>第 3 回（2014.12.3）「私立大学(病院)との比較分析」（吉田）</p> <p>第 4 回（2015.1.22）「研究サーベイ：医療法人における管理会計実践の法人規模別状況(荒井・尻無濱(2013))」（奥田）</p> <p>・「医療経済・マネジメント分野の人材養成に関する調査研究」という課題で、平成 26 年度・本学特別研究奨励費に申請して受理されている。それにより 2015 年 3 月 6 日に大学院において医経連携教育を実施している大阪市立大学経営学研究科への聞き取り調査を実施し、3 月 19、20 日に医経連携セミナーとして外部講師による講演を予定</p>

	<p>している（吉田・三澤）。</p> <p>・ 関連する研究業績（最近のもの）</p> <p>吉田和生</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「退職給付債務の即時認識と年金資産の運用政策－アメリカ会計基準採用企業の分析－」『オイコノミカ』第49巻第2号、2013年、79-88頁。 2. 「退職給付会計における報告利益管理行動と Jones 型モデルの修正」『現代ディスクロージャー研究』第13号、2013年、167-180頁。 <p>奥田眞也</p> <p>「情報システム統合と財務会計システムの満足度の関係」『企業会計』第67巻第3号、2015年、433-438頁。</p> <p>小川淳平</p> <p>「金融負債の公正価値評価の影響：Citigroup の事例」『オイコノミカ』第49巻第2号、2013年、89-119頁。</p> <p>高橋二郎</p> <p>「減損会計の利益調整に関する一考察」『ディスカッション・ペーパー(名古屋市立大学経済学会)』No.583、2014年、1-13頁。</p> <p>三澤哲也</p> <p><不確実性リスクを考慮した設備投資の価値尺度と意思決定統計モデル、リスクヘッジとリアルオプション></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Value Assessment of Power Generation Project by UNPV Method Considering Scale Effects, (with Y.Ide and H.Miyauchi), <i>Proceedings of 2014 Makassar International Conference on Electrical Engineering and Informatics (MICEEI)</i>, IEEE pp.1-5 (2014). (査読有) 2. Asset Evaluation of Thermal Power Plant Project by Probit Model, (with M. Hayashida and H.Miyauchi), <i>Proceedings of the 20th International Conference on Electrical Engineering (ICEE)</i>, pp. 666-670 (2014) (査読有、Best Paper Award) 3. Risk Assessment of Power Plant Investment by Three Level Ordered Probit Model Considering Project Suspension, (with J.Sakaguchi and H.Miyauchi), <i>Proceedings of 2013 IREP Symposium -Bulk</i>
--	---

	<p><i>Power System Dynamics and Control-IX (IREP)</i>, IEEE pp.1-5 (2013), doi:10.1109/IREP.2013.6629398. (査読有)</p> <p>4. 「リアルオプションを考慮した RNPV プロビットモデルに基づく火力発電事業価値評価」(廣瀬高史、宮内肇との共著)、『リアルオプション研究』第 5 巻、1-18 頁 (2012). (査読有)</p> <p><日本の電力卸市場システムプライスの計量分析></p> <p>5. Regression Analysis of Electric Power Market Price of JEPX, (with H. Miyauchi), <i>Journal of Power and Energy Engineering</i>, Vol. 2, No. 4 (part 2), pp.483-488 (2014), doi:10.4236/jpee.2014.24065. (査読有)</p>
--	---

5. 研究目的	
<p>本研究の目的は、大学病院を中心とした大学経営に関するさまざまな問題について会計及びファイナンスの研究分野から議論して分析することである。運営費交付金が減少しつつある国公立大学において、その経営問題は重要な課題となっている。特に、大学病院では DPC (包括定額払い) 制度が 2003 年に本格的に導入された後、原価管理の重要性が高まるとともに、投資リスクを伴う高度先進医療を維持するために毎年多額の設備投資を要し、会計・財務問題が極めて重要となっている。本研究ではこの問題を取り上げて、会計及びファイナンスのそれぞれの専門領域の視点から分析する。</p> <p>大学、あるいは医療機関を対象とする研究はこれまで余り実施されてこなかったため、未解決の問題が多い。そのため、本研究の学術的価値は非常に高いと考えられる。また、この分析を行うことによって、大学病院を中心した本学 (名古屋市立大学) の経営について問題点を指摘して、それを解決すべく施策を提言することを期待している。</p>	

6. 研究計画・研究方法

<平成 27 年度>

・「財務分析懇談会」を 2、3 ヶ月に 1 回程度開催して、医療会計ファイナンスに関する勉強会を継続する。

第 5 回 (2015.3.19) 「セグメント別の財務分析—名古屋市立大学の現状と展望—」(小川)

第 6 回 (2015.5 予定) 「タイトル未定」(高橋)

第 7 回 (2015.7 予定) 「タイトル未定」(吉田)

・医療経営に関するセミナーを実施する(研究費を獲得した場合)。

・ファイナンス分析研究会の中で、リスクを考慮した設備投資の価値評価に関するセミナーを実施(1, 2 回予定、報告者: 宮原孝夫・三澤) し、医療経営分野への適用可能性について探る。

<平成 28 年度>

・「財務分析懇談会」を継続して開催する。

・医療経営に関するセミナーを実施する(研究費を獲得した場合)。

・ファイナンス分析研究会の中で上記テーマのセミナーを実施する。

・分析デザインを検討する。

<平成 29 年度>

・「財務分析懇談会」を継続して、開催する。

・医療経営に関するセミナーを実施する(研究費を獲得した場合)。

・ファイナンス分析研究会の中で上記テーマのセミナーを実施する。

・関連領域に関する研究紹介を中心とした中間報告書を作成する。

・関連データを収集する。

<平成 30 年度>

・「財務分析懇談会」を継続して、開催する。

・医療経営に関するセミナーを実施する(研究費を獲得した場合)。

・ファイナンス分析研究会の中で上記テーマならびに関連データ分析のセミナーを実施する。

・関連データを収集しつつ、分析を開始する。

<平成 31 年度>

・「財務分析懇談会」を継続して、開催する。

・医療経営に関するセミナーを実施する(研究費を獲得した場合)。

・ファイナンス分析研究会の中で上記テーマならびに関連データ分析のセミナーを実施する。

・データ分析結果をまとめて、最終報告書を作成する。